清水道中金毛草鞋

廿一

東都八十八ヶ所

逍遥文庫
文庫6
1004
21

文庫6
1004
21

東都大師巡拝

八十八箇所　金草鞋

去年四国偏礼の事を著し。詳なる行程とて。こゝ三年の間。
毎朝の八十八ヶ所。偏礼の五番札所の霊場に住して。あるまゝ。そもく
高祖大師八。三密の法門を弘通し。国恩一切の
難行苦行しめ給ひ。二十五度巡行し給ふとや。国恩一切
変宝として。一度遍礼の輩。現世にては。一切の病難消滅し。病苦
毒の難病を除礼。生涯安全東国一般長久をとゞまるせるゆへ。未来は
浄の飛障を滅し。安楽浄土に往生たまさしめんとの。誓願を願へし。
志ある人。国の人。志ある人。遍礼をこゝろ。
なを往せざる人。おもきゝ。むかし〜空暦の比。下総の国。松戸宿の諦
信和尚。発願して。東武より八十八ヶ所の霊場をとゝのへ。
後てこゝ。ふるの五番を掘て写して。偏礼の一助とす。

文政五年孟夏

十返舎一九誌

徧礼の次第一二の順番に拘らずその道順に従ひて記す故に順逆
混雑すといへども第一番高野寺より第二三番へ行く札所の順なれ
ども道に悉く損へあるゆへ一番より八十五番泉福院へ参詣を
遂し居收より余るるとまとて准じあるべき
八十八ヶ所寺ごとに大師を安置せざるはなし依てその本尊ごとくにをと
志ところぞ
山号寺号本尊ご詠歌開基年数まで記しことを
詠歌は四国遍路の事を唱へ来れるとあり挿この詠歌と称するあ
何人の作なるかやま風制衣して拙く手ぶ設けの起遠
自他の差別なく土佐中の俗にして言るに足ざるものなりされ
ども是まで皆人さうろうかのゆへ手経をまなし平ね
東都良にあるて西あるは五智山地持ちあり南に大師須京の平間
寺ありおのおの大師の霊場なり

東都徧礼八十八箇所 道法順

第一番 —八丁— 八十五 —四丁— 八十一 —三丁— 八十四 —三丁— 七十七 —[illegible]— 六十五 —[illegible]— 六十九 —[illegible]— 八十 —九丁— 二十七 —十六丁— 十九 —十丁— 二十 —二丁— 六十七 —一里— 十三

—十八丁—

八十二 —四丁— 六十一 —二丁— 四十三 —三丁— 六十二 —一丁— 七十二 —八丁— 四十五 —八丁— 五十一 —十二丁— 五十 —八丁— 四十六 —廿五丁— 四十 —廿丁— 七十三 —十八丁— 六十八 —八丁— 七十四

—三丁—

四十一 —一丁— 六十 —五丁— 七十八 —十六丁— 四十九 —三丁— 五十三 —一丁— 五十五 —[illegible]— 七十 —二丁— 六十三 —[illegible]— 五十七 —三丁— 六十四 —[illegible]— 四十二 —十五丁— 五十六 —二丁— 六十六

—十五丁—

五十四 —五丁— 七十六 —十八丁— 八十七 —八丁— 七十九 —十二丁— 七十一 —五丁— 八十六 —十二丁— 三十四 —五丁— 三十二 —四丁— 二十八 —四丁— 三十五 —一里— 三十三 —十五丁— 四十七 —三丁— 五十九

—十一丁—

五十二 —七丁— 三十 —八丁— 三十八 —二里— 十五 —一里半— 十七 —四丁— 十六 —一里九丁— 十四 —一里五丁— 十二 —十六丁— 十一 —十二丁— 第三 —七丁— 二十四 —八丁— 第二 —十丁— 三十六

—四十丁—

二十六 —三丁— 三十九 —[illegible]— 八十三 —四丁— 十八 —[illegible]— 二十一 —十一丁— 二十五 —十六丁— 三十七 —八丁— 二十三 —[illegible]— 四十八 —三丁— 五十八 —九丁— 二十二 —十丁— 三十一 —一丁— 二十九

—三丁—

四十四 —十三丁— 第十 —八丁— 第九 —十八丁— 七十五 —十六丁— 第六 —十九丁— 第五 —卅五丁— 第七 —九丁— 第四 —二丁— 第八 —十五丁— 八十八

休所

きぐんも源川の
ハまんごろも
つきぬ ちゑひぞ

二八そば

○それよりろ四十
六ぢんかぶ二ひめ
まんやさんーまう
ゆうりんとりふるぢんぞん
ゆし大ーのさく
一どてくのさぎうあり
せちいらてくのぎうあり
ろくくくれわくひ
ろるべー
○こよりハさ
やきさ四十ぢん
おるーくひろり
めりくまち大
くりんろんぞん
せしてくのるこ
ちんころうこと
おこくくさ
きよびやうる
れとのぞこ
いのれく
注 あくこうる
みわくけと
ちてやし
てう

ぢんぞうこうれ大ー
ものもけさんぐくの
とんやきうおうろろざしい
ゆいろうそそおくろふる
りめーごがっーんとみ
ぎそう
こうりのを
ゆのうの
ゆハの
注 ゆぢの大
こくりんと
きくくくふ
ぞんさい
どの
ちくまち
ゆとこそ
ぞ
えるいろどふ
のりてぎるくく
ろふくよいやくど
れぐくどうれの
ゆくぐいくく
まりどもまれ
ちいるぎと
りてくるさい
ぢふをくろそ
ぐどくろんぞ
あるきるぐくれて
ろくくしふりのごくく
ぢんふかくものくろ
こぶこくハいくの
そくうまれまして

○それより七十二文
一のこや川

○それより仙十二文ん
人のめをくらまし

人相

三国志
代名
本屋

三福屋

酒

二十四拜金草鞋　六冊

文政末のころ　出板仕る

十返舍一九著

歌川敎　北尾美丸画

早稲田大学図書館
011688992003